令和６年度　研究計画

１　研究主題

教育目標　「自ら求めて、一生懸命やりぬく子」の育成

校訓（目指す児童像）　はげまし合う子　元気な子　自ら学ぶ子

研究主題　**主体的に考え、共に学び合う子の育成**
～　できた喜び、達成感、結果に結び付く授業づくり　～

２　研究の構想

昨年度の取り組み

・「子どもが考え学ぶ」児童主体の授業づくりに取り組んだ。
・「国語で正確に理解し適切に表現する力」の向上をめざし、国語科での研究実践を重ねた。

課題として残った点

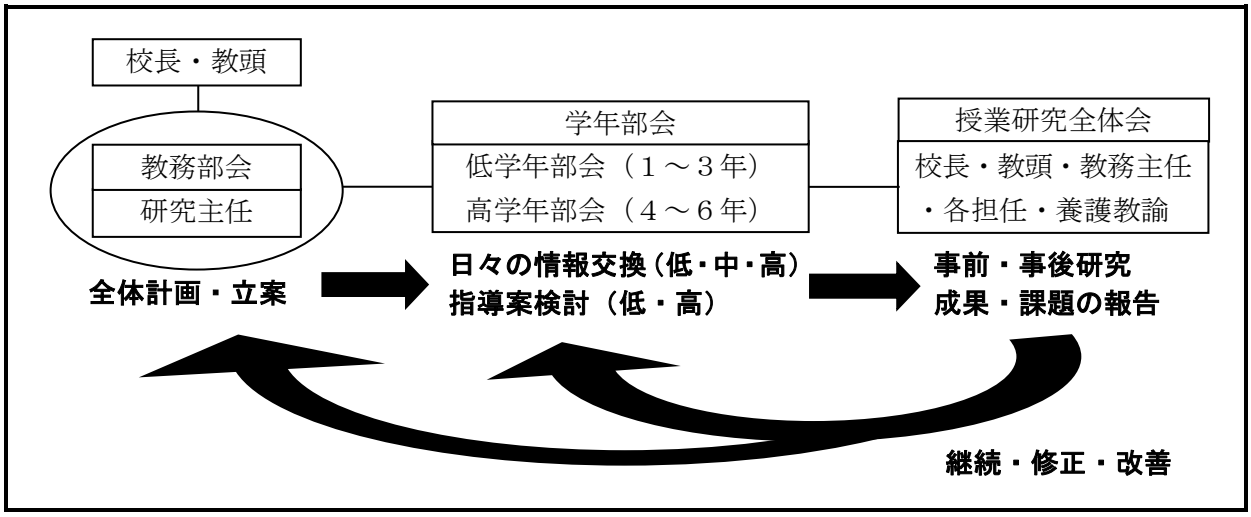
△子どもが主体的に考え学びを深めていく授業の実現をめざしたが、教える場面がまだ多い。
△学力調査において国語の成果は上がったが、算数での正答率の低下が見られた。

今年度の研究の方向性

○「生徒指導４つの視点」を意識し、どの児童も「できた喜び」や「達成感」を味わえる授業をめざす。
○学習活動の質を向上させ、子どもが主体的に学習のまとめができる授業をめざす。そうした授業を積み重ね、学力調査の結果に結び付ける。

研究の柱	**柱１** **どの子も「できた喜び」や「達成感」を味わえる「生徒指導４つの視点」を働かせた授業デザインの工夫**	**柱２** **個別最適な学びと協働的な学びを保障し、子どもが主体的に学習のまとめができる授業の実現**
研究内容	**●生徒指導４つの視点を意識した授業デザインを工夫する。** 視点①「自己存在感の感受」 視点②「共感的な人間関係の育成」 視点③「自己決定の場の提供」 視点④「安全・安心な風土の醸成」	**●個別最適な学びと協働的な学びの場を設定し、その質を向上させる。** **●学年に応じた、児童主体の授業方法を研究する。** **●子どもの思考ツールとなる効果的なICT機器の活用法を探る。**

３　研究体制



４　研究の進め方

① 研究教科：算数科（領域は問わない）
研究の成果は、標準学力調査や SASA の算数科における数値で見る。

②担任は、全員授業を公開し（指導主事訪問と校内研究授業）、授業力を高め合う。

・指導主事訪問「研究授業」

模擬授業形式での事前研究(全体会）→ 授業 →事後研究(全体会）

・「校内研究授業」

指導案検討(低・高学年部会）→ 授業 →事後研究(全体会）

③指導案形式

・指導主事訪問「研究授業」→ 細案

・指導主事訪問「一般授業」、「校内研究授業」→ 略案（本時のみ）

④年間を通して、主題に沿った研究を続ける。また、日ごろから、低・中・高学年部会で、授業づくりに関する悩みを気軽に相談し、改善策を一緒に考えたり、 アドバイスしたりする。

５　１年間の研究の流れ

<table>
<tr><th rowspan="2">月</th><th rowspan="2">校内研修
・日々の取り組み</th><th colspan="2">指導主事訪問</th><th rowspan="2">校内研究授業</th></tr>
<tr><th>研究授業</th><th>一般授業</th></tr>
<tr><td>４月</td><td>研究の方向性決定</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>５月</td><td rowspan="3">●研究の視点を意識した研究実践の積み重ね

●日々の情報交換や相談</td><td></td><td></td><td>５／２２（水）
４年（算数）
★指導案検討
4～6 年担任</td></tr>
<tr><td>６月</td><td>６／１４（金）
６年（算数）
★指導案検討
模擬授業</td><td>２年（算数）
５年（算数）</td><td></td></tr>
<tr><td>７月</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>８月</td><td>授業づくり・全国学調に関する校内研修</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>９月</td><td rowspan="3">●研究の視点を意識した研究実践の積み重ね

●日々の情報交換や相談</td><td></td><td></td><td>９／２７（金）
１年（算数）
★指導案検討
1～3年担任</td></tr>
<tr><td>10 月</td><td></td><td></td><td>１０／２３（水）
５年（算数）
★指導案検討
4～6年担任</td></tr>
<tr><td>11 月</td><td>１１／１（金）
３年（算数）
★指導案検討
模擬授業</td><td>１年（算数）
４年（算数）</td><td>１１／２０（水）
２年（算数）
★指導案検討
1～3年担任</td></tr>
<tr><td>12 月</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>１月</td><td>丹生の教育投稿</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>２月</td><td>SASA・標準学力調査に関する校内研修</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>３月</td><td>次年度の見通し</td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

６　その他

○「タブレット」を活用した授業を、一人１回公開する。（研究授業・保護者への授業参観等で）

○時間を見付けて、積極的に他学年の授業を参観する。

○指導主事訪問時、城崎小学校・越前中学校どちらかの授業を必ず１回は参観する。

○今年度の丹生の教育投稿（榎波教諭）